

## 逗子でも始まっているよ！新しい保育施設

妊娠中のママ、育休中のママ、新しく仕事を始めたいママにとっては地元の保育所事情が気になる場所。子どもが安心して過ごせることは第一として、自分の就業希望に合った保育施設に出会いたいものですね。国では新しい形態の施設ができていくように、逗子では？教えてシズオ！



4月から逗子に新しい形態の保育施設ができたんだよ。知ってる～？

初めて聞いた！どんな施設なの？



幼稚園付属の小規模保育施設で、1歳・2歳児をあずかるんだ。子どもが3歳になったら同じ幼稚園に入園できるよ。

※毎月の保育料は保育園の保育料と同額で、保護者の所得に応じて決まります。  
※この施設は、将来的に幼稚園型認定こども園へ移行する予定です。

へ～そうなんだ！  
ところで、最近よく認定こども園って聞くけど保育園や幼稚園とはどう違うのかな？

認定こども園は、幼児教育と保育を一体的に提供する施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設なんだ。

なるほどね！わたしたちの逗子には、どんな保育施設があって、どう変わっていくんだろう。詳しく知りたいな～♪

詳しくは、  
子育てポータルサイト「えがお」  
<http://www.city.zushi.kanagawa.jp/egao>

逗子市 教育部 保育課 に問い合わせせてみてね！  
電話：046-872-8118



みてみて！たーくさんのおもちゃ！さっそくシズオがかくれんぼを始めたよ♪  
もういいか～い？さがしてさがしてシズオはどこかな？



### シズオ

逗子の里山で産まれたドンダリの妖精。  
森のどうぶつたちや海や川のいきものたちと大親友♪  
広報ずし、チラシや印刷物、のぼり旗に登場してるよ！

ほかにもこんなものがかくれんぼしてるよ！

- ◎2ひきのクマさん
- ◎あまずっぱいキウイフルーツ
- ◎じょうずにできるかな？赤いけんだま
- ◎おなかペコペコ2ひきのあおむし
- ◎ぎんいろのカギ
- ◎みどりいろのサイコロ

### スタッフのつぶやき

4月は転園で2度目の慣らし保育。  
新しい環境、お友達に戸惑ってたね。  
これからは楽しく保育園で過ごしてほしいな。  
(まくり)

下の子が小学校へ入学してから体重が増えました(涙)  
園への送り迎えがいい運動になっていたんだな～。  
(かも)

逗子に住んで初めての夏を迎えます。  
1歳の娘も海遊びデビュー！  
でも海にはまだ入れないから、  
お砂場セット持って行こうね♪  
(トマト)



子育てポータルサイト「えがお」も見てね！

<http://www.city.zushi.kanagawa.jp/egao>



# 陽だまり

【特集】  
「ずし子ども食堂」



小坪のKくん(11才)が描いてくれました！

～地域活動でご活躍の方々から～

子育て応援メッセージ



## 『 出会いが心を豊かに 』

陶芸家、陶 ATELIER310 主催

荒井 愛

自然の中で子育てがしたい！と12年前に逗子へ越してまいりました。フリーランスのため産後1ヶ月で仕事を再開し、息抜きに息子と散歩している時、いつも近所の方々優しく声をかけてくださいました。ちょっとした一言に救われ、ちょっとした優しさに安らぎをもらいました。

また、育児サークル『エンジェルキッズ』(逗子ハイランド自治会館)に参加させていただき、ご近所に住む同世代の素敵なお友達が沢山出来ました。子育てをする中で、一緒に遊んだり悩みを相談したり、今でもとても心強い存在です。

“人との出会いが心を豊かにし、親としての成長や原動力になっています。”

私は陶芸講師として20年以上、土と共に生活してきました。小5と小2の子ども達も、物心がつく前から土と戯れ、自分で作った器で食事をして、成長しました。土と触れ合う時間は、食育やアートセラピーに繋がると考えます。年々忙しくなる子ども達ですが、自ら作る器で家族で囲む食卓がより楽しく暖かい空間になることを願い、今後も子ども達と一緒に泥だらけになって作品を作り続けていきたいと思っています。

### PROFILE

女子美術短期大学にて陶芸を学ぶ。日本陶芸倶楽部勤務を経て独立。展示会・陶芸教室・こども造形教室・出張教室など幅広く活動。

●問合せ先● 社会福祉法人 逗子市社会福祉協議会 地域福祉推進係  
〒249-0005 逗子市桜山5-32-1 (福祉会館内) HP: <http://zushi-shakyo.com/>  
電話 046-873-8011 FAX 046-872-2519 Eメール [sunny@zushi-shakyo.com](mailto:sunny@zushi-shakyo.com)

●発行元● 逗子市 教育部 子育て支援課  
〒249-8686 逗子市逗子5-2-16 HP: <http://www.city.zushi.kanagawa.jp/>  
電話 046-873-1111 (代表) FAX 046-873-4520

# 最近よく聞く“子ども食堂”、どんなところ？ 私たちが行ってもいいの??

スタッフレポート!

## 「ずし子ども食堂」

**@スマイル  
ずし子ども0円食堂**

たくさん遊んで、  
たくさん食べて、  
親子でリフレッシュ♪

ベビーカーで中まで  
入れるのがうれしい!

降園後の  
保育園ママの  
交流に場にも。

待ち時間に、  
尺八の演奏を  
聞かせてくださる方!  
柔らかな音色に  
癒されます。

ママも食べられるって  
知らなかった!

行ってみよう!



トマト (1歳の女の子ママ)

初めての参加で少し緊張しましたが、スタッフの方々にたくさん  
声をかけていただきほっとしました。  
夕食は娘と二人のことが多いですが、久しぶりに作ってもらった  
食事で嬉しかったです(涙)! カレーがまだ食べられない娘は、  
ごはんとおかずだけ取り分けました。モリモリ食べている周りの  
子ども達を見て、楽しそうに食べていました!

- ずし子ども0円食堂 スマイル  
主催：ずし子ども0円食堂プロジェクト
- 開催：毎月第四水曜日 16時～18時(食事17時～)
  - 場所：体験学習施設スマイル(第一運動公園内)
  - 参加費：子ども0円 おとな300円
- ※事前申込不要、当日用紙に必要事項を記入  
※日時変更の場合あり

「ずし子ども0円食堂」  
「ずし子ども土曜食堂」には、  
マイお皿、マイカップ、  
マイカトラリーを持っていこう!



設立のかたちはそれぞれですが、地域の交流の場として  
存在することが共通の目的のひとつとなっています。

子育てにちょっと疲れたとき、  
なんだか夕食を作りたくないとき、  
誰かとほっと話がしたいとき…  
赤ちゃん・小さい子ども連れ、  
もちろん歓迎!

**@沼間ファミセン  
沼間小学校区コミュニティセンター  
ずし子ども0円食堂**

座卓でみんなで晩ごはん。  
おばあちゃんの家みたいな、  
あったかい雰囲気居心地がいいな。

わくわくするね♪  
フルーツポンチ

行ってみよう!



プー (3歳児のママ)

よく来たね! 間に合ったね! など、  
いつも話しかけていただいて、  
温かく見守られている感じ!



食後は食器類を洗う前に  
置かれている古布でフキフキ。  
エコなお片付け!

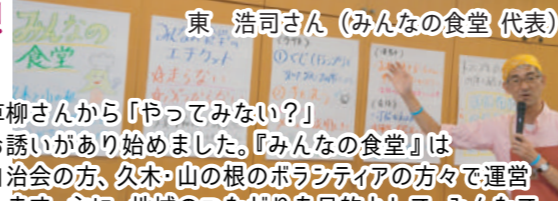
毎月親子でお世話になっています。旅館の宴会場のような、畳の  
お部屋で座卓で食事ができるので、赤ちゃんを側に寝かせやすいです。  
低い机で食事ができるから、幼児でも食べやすかった!  
今回はあさりのお味噌汁まで提供されていて、我が子は2杯  
飲んでいました。美味しかったのね。食後は、自主的にテーブル  
拭きなどお手伝い。お片付けも学べます。子どもたちはお部屋にある  
低い舞台で風船やボードゲームなどで遊んでいて楽しそうでした。

- ずし子ども0円食堂 沼間ファミセン  
主催：ずし子ども0円食堂プロジェクト
- 開催：毎月第一水曜日 16時～18時(食事17時～)
  - 場所：沼間小学校区コミュニティセンター
  - 参加費：子ども0円 おとな300円
- ※事前申込不要、当日用紙に必要事項を記入  
※日時変更の場合あり

- みんなの食堂  
主催：久木小学校区住民自治協議会 ※日時変更の場合あり
- 開催：毎月最終金曜日(8月はお休み) 17時～18時半
  - 場所：久木会館 ● 参加費：子ども100円 おとな300円
- ※事前申込不要 ※100食にて受付終了となります  
※当日用紙に必要事項を記入

草柳さんから「やってみない?」  
とお誘いがありました。『みんなの食堂』は  
地元自治会の方、久木・山の根のボランティアの方々と運営  
しています。主に、地域のつながりを目的として、みんなで  
ご飯と一緒に食べて交流をはかれたらと考えています。

東 浩司さん (みんなの食堂 代表)



**@久木会館  
みんなの食堂**

まるで大家族の一員になったみたい!  
地域とつながるキッカケの場。

赤ちゃんもお年寄りもひとつの食卓で  
「いただきます♪」毎回、限定100食!!

行ってみよう!



かも (7歳の男の子ママ)

赤ちゃんから年配の方まで、アットホーム!  
座卓のせいか、リラックスムードでした。  
相席の方とも話しやすい雰囲気、実家で  
ご飯を食べているような居心地の良さでした♪

この日は旬のタケノコがメニューにあり食育にもなりました。  
食後は隣にあるプレイルームで学年関係なくみんな仲良く遊んでいました。



待ち時間に  
折り紙を教えて  
もらっていたよ!

厨房スタッフも楽しそう!

**@逗子小ふれスワ  
ずし子ども土曜食堂**

土曜日のお昼に開催。買い物ついでにランチはいかが?  
エプロン姿の小学生がお手伝い♪

※ふれスワ  
逗子市が運営、公立小学校に  
併設し、各小学校区の小学生が  
放課後遊べる登録制の遊び場。

元気に遊ぶ小学生! 部屋に立ち込めるカレーの匂い…  
そこにいる自分も小学生に戻ったような、懐かしい気持ちに  
なりました。小さい子は少なかったけれど、スタッフの方も、  
相席した小学生の子も優しく迎え入れてくれました。  
子ども以上に自分がりフレッシュさせてもらえて感謝です。

行ってみよう!



ねんど (2歳の女の子ママ)

この日は、逗子はじめ近隣に展開する地元スーパーさんよりたっぷり“しらす”の  
ご寄付をいただきました。そして急遽一品「しらすの和え物」がメニューに追加!



お手伝いも各種ご寄付も、  
さまざまな形で受付中★

ご寄付の煮干しから佃煮を作ったり、おでんが追加された  
ことも。そういうご寄付で支えられています。

- ずし子ども土曜食堂  
主催：ずし子ども0円食堂プロジェクト
- 開催：毎月第二土曜日 10時～13時(食事12時～)
  - 場所：逗子小学校ふれあいスクール ※限定100食
  - 参加費：子ども0円 おとな300円
- ※事前申込不要、当日用紙に必要事項を記入  
※日時変更の場合あり

赤ちゃん連れも  
ウェルカム!

逗子ならではのアットホームな子ども食堂♪  
愛情いっぱいの温かいごはん子どもたちに笑顔になってもらいたい!

こんな思いから子ども食堂をオープンさせました。2018年5月現在、  
市内5か所にある食堂は、地域の交流の場としても、とても大きな役割を担っています。  
小さいお子さん連れのママもぜひ遠慮しないで来てください。



私たちはおせっかいおばちゃんたちの  
キャラバンよ! ハイハイ!

草柳さん(右端)とスタッフの皆さん

ここに来る子どもは、  
ゼーンぶ自分の子だと思って  
毎回作っているのだから。

草柳 ゆきゑ さん(ずし子ども0円食堂プロジェクト代表)  
保育士や主任児童委員、食生活改善推進団体・若宮会の  
ボランティアを20年以上務めてきた経験を活かし、  
2016年に「ずし子ども0円食堂プロジェクト」を発足。  
「みんなで食べるごはんは本当に美味しいんですよ。」

食中毒を絶対に出さないため、スタッフ全員が  
保健所の講習を受講しています。

**@小坪ファミセン  
小坪小学校区コミュニティセンター  
こっぽ子ども食堂**

ひとりでごはんを食べている人や、  
みんなでごはんを食べたい人のための会!  
福本 秀子さん (こっぽ子ども食堂 代表)

地産・季節の食材でお料理教室。  
もちろんランチだけでもOK!

きよちゃんばあばの  
土曜日ランチ (こっぽ子ども食堂)  
主催：小坪地区青少年健全育成推進会

- 開催：偶数月第一土曜日 料理9:30～11:45 食事11:45～13:00
  - 場所：小坪小学校区コミュニティセンター ● 参加費：子ども0円 おとな300円
- ※可能であれば事前申込 申込書は小坪小学校児童に配布、また小坪ファミセンに設置。  
申込受付は小坪小、小坪ファミセン、小坪交番連絡協議会事務所、ほか。

信太 寺日さんが先生。  
4月はたけのこご飯や  
小坪のわかめ味噌汁も!  
※日時変更の場合あり

